

5月 May

■第18回新川さくらフェスティバル音楽祭

- ・平成30年5月12日(土)
- ・札幌サンプラザコンサートホール

地域住民の手による新川さくら並木の植樹を記念して、新川さくら並木連合町内会と新川地区緑化推進協議会が主催する音楽祭です。平成10年4月の植樹開始から20周年の節目を迎えた今回の開催は、常時満席で立ち見ができるほどの大盛況となり、区内で活躍する合唱団や吹奏楽団の演奏に客席からは惜しみない拍手が送られました。



■幌北小児童が日赤奉仕団幌北分団と花植え

- ・平成30年5月16日(水)
- ・札幌市立幌北小学校周辺

幌北小学校の3年生児童が、日赤奉仕団幌北分団のメンバーと、同校周辺のます花壇に花苗を植えました。同分団では、花を植える活動を通して、より良い地域を作ろうとする子どもたちの心を育てようと、この活動を30年以上続けています。参加した児童は、同分団のメンバーに土の掘り方やかぶせ方などを教わりながら、花苗を植えました。



■ゴミ拾いウォーキング

- ・平成30年5月21日(月)
- ・旧琴似川河川敷

篠路地区の高齢者が、ボランティア活動などを通じて地域社会への参加意識と生きがいを実感しながら、互いに絆を深めていこうと活動している「篠路チョボラ会」が主催しました。約30名の参加者は、同会が植樹した桜の開花を楽しみながら、冬の間に河川敷に散乱してしまったごみを一つ一つ丁寧に回収していきました。



■「北区食生活改善推進員養成講座」開講

- ・平成30年5月28日(月)
- ・北保健センター

地域に食生活改善の輪を広げていくボランティアの育成を目的として、北区食生活改善推進員協議会の協力のもと、北区が開講する講座です。第42期生となる9名の受講生は、栄養の知識や食品衛生、調理実習など全6日間の講義を受けました。また、平成30年度は、昭和51年度から始まった同講座の修了生が1000人に達し、記念すべき年になりました。



6月 June

■カラダにえ～よ～展

- ・平成30年6月2日(土)
- ・北海道大学北部食堂内

若年層に対して健康意識の啓発の機会や専門的な健康情報を提供しようと、北大祭の期間に合わせて北区健康・子ども課と北海道大学大学院教育学研究院の体力科学研究室が共催しました。会場内には、さまざまな健康測定のコーナーなどが設置され、来場者らは、保健師スタッフに測定結果について相談するなど、自身の健康状態を確認していました。



■和光小で亜麻の授業

- ・平成30年6月8日(金)
- ・札幌市立和光小学校

亜麻を通したまちづくりに取り組んでいるあさぶ亜麻保存会が、和光小学校の4年生児童を対象として、亜麻の授業を行いました。これは、地域の歴史を学ぶ総合的な学習の一環として行われたもので、繊維の採取に適した一年草の亜麻「青柳^{あおやなぎ}」の茎を乾燥させた実物を見せたりしながら、麻生という地名の由来となった亜麻工場の歴史などを説明しました。



■篠路小児童がボランティア団体と花植え

- ・平成30年6月8日(金)
- ・札幌市立篠路小学校

地域住民と交流しながら花を植え、自然や命を大切にすることを育もうと、篠路小学校の3年生児童が、「秋桜^{あきもみぢ} 地域を花でかざろう会」、「札幌北更生保護女性会篠路分区」とともに花植え活動を行いました。両団体が種から育てた約100株の花苗が用意され、児童たちは、両団体のメンバーに植え方を教わりながら、プランターに花苗を植えました。



■新琴似西ふれあいウォーキング

- ・平成30年6月30日(土)
- ・新琴似西地区

地域住民の健康づくりの促進と住民同士の交流を深めることを目的に、新琴似西連合町内会女性部が主催したものです。参加者らは、約8キロメートルのコースを約2時間かけて歩き、コース途中の安春川沿いや屯田防風林の風景を眺めながらウォーキングを楽しみました。



7月 July

■地域住民があいの里北公園で美化活動

- ・平成30年7月9日(月)
- ・あいの里北公園

あいの里地区の豊かな樹林環境の維持の在り方を検討していくことなどを目的に設立されたあいの里の樹木検討委員会のメンバーが、あいの里北公園の美化作業を行いました。地域住民の手で安全・安心な公園にしようと集まった参加者は、樹木の下枝払い班とベンチ塗装班に分かれ、互いに声を掛け合いながら、約4時間にわたり作業を行いました。



■ヘルシーぽっぴいサマーフェスタ2018

- ・平成30年7月25日(水)～26日(木)
- ・札幌サンプラザ

札幌の農産物を紹介し地産地消を啓発するとともに、より良い食生活や健康づくりの大切さを知ってもらおうと、「ノースロード24フェスタ2018」に合わせて北区が主催しました。食育や健康づくりに関するパネル展や健康測定などさまざまな企画が行われた会場には、北区健康まちづくりキャラクター「ぽっぴい」も登場し、多くの人でにぎわいました。



■篠路川クリーンアップ作戦

- ・平成30年7月27日(金)
- ・篠路川周辺(篠路橋～下茨戸橋兩岸)

平成5年に開催された「石狩川サミット」で、毎年8月7日が「石狩川の日」と定められたことにちなみ、同日まで展開されている「石狩川クリーンアップ作戦」の一環として、札幌市が主催しました。地域住民や市職員など約40人の参加者は、上流側と下流側に分かれ、火ばさみとごみ袋を手に散策路を歩きながら、ごみ拾いを行いました。



■2018安春川子どもサマーフェスティバル

- ・平成30年7月29日(日)
- ・安春川周辺

地域に親しまれている安春川で思い切り水遊びを楽しんでもらい、子どもたちに夏の楽しい思い出を作ってもらおうと、安春川周辺の町内会で組織する同フェスティバル実行委員会が主催しました。川を網で囲った特設会場では、金魚すくいとスーパーボールすくいが行われ、参加した子どもたちは歓声を上げながら夏の川遊びを楽しみました。



8月 August

■Go!Go!きたっご夏まつり

- ・平成30年8月1日(水)
- ・北区民センター

子育て家庭や地域住民、学生などさまざまな世代の交流を図ろうと北区が主催しました。会場に用意されたさまざまな遊びのコーナーは、地域ボランティアと中学・高校・大学・専門学校の学生ボランティアが担当し、来場した親子連れなどを楽しませたほか、奏者が踊りながら吹奏楽を演奏する「ダンブレライブ」も披露され、会場を盛り上げました。



■まなび舎^やしろ

- ・平成30年8月25日(土)
- ・札幌市立篠路中学校

「学校で質問したくても恥ずかしくてできない」など学習環境に悩みを抱える子どもたちを対象に学習支援を行おうと、篠路中学校の生徒の父親など地域住民で組織する同校おやしの会が主催する学習会です。参加した同校の一年生の生徒らは、講師の生徒一人一人に合わせた丁寧な指導を受けながら、真剣な表情で課題に向き合っていました。



■第3回あいCircle「パンタベール祭」

- ・平成30年8月29日(水)
- ・北海道札幌あいの里高等支援学校

「あいCircle」は、あいの里高等支援学校の生徒が授業の中で作った物品を販売する地域販売会です。平成30年度は6回企画され、3回目のこの日は、食品デザイン科のパンやお菓子の販売をメインに実施されました。被服デザイン科では藍染め講座として「藍の生葉布染め体験」を行い、生徒は講師のお手伝いをしながら訪れた人との交流を楽しみました。



■北区防災訓練

- ・平成30年8月31日(金)
- ・札幌市立屯田小学校

北区では、災害発生時に地域や区、消防などが互いに連携して迅速な対応ができるよう、地域と協働で防災訓練を行っています。平成30年度は、屯田連合町内会と北区役所の主催により、屯田小学校の児童や地域住民など約1000人が参加して開催され、直下型地震が発生したとの想定の下、避難所開設運営訓練や応急手当訓練などを行いました。



1月 January

■冬の遊びin麻生球場

- ・平成30年1月12日(金)
- ・麻生球場

野球場の広いグラウンドを生かした冬の遊びを子どもたちに思い切り楽しんでもらおうと、麻生地区青少年育成委員会、麻生児童会館、麻生球場が主催したものです。当日は、地域の子どもたちなど約80人が参加し、そりりレーや、スノーモービルでゴムボートを引っ張るスノーラフティング、チューブ滑りなど冬ならではの遊びを楽しみました。



■篠路中生徒が除雪ボランティア

- ・平成30年1月23日(火)
- ・拓北地区

地域に密着したボランティア活動を通して地域住民との交流を図り、その意義や喜びを体験しようと、篠路中学校の生徒が、ひまわり連合自治会のメンバーとともに消火栓周りの除雪ボランティアを行いました。参加した同校の1・2年生有志生徒と同会のメンバー約80名は、グループに分かれて拓北地区の消火栓16基の除雪を行いました。



■第5回に～よん音楽祭

- ・平成30年1月28日(日)
- ・札幌サンプラザコンサートホール

北区内で活動している音楽家の演奏を通して地域の交流を図ろうと、スローライフ・イン・に～よん実行委員会が主催しました。来場者は、北24条周辺を拠点に活動しているアーティストによる様々なジャンルの楽曲の歌声や、区内の高等学校の吹奏楽部による迫力ある演奏などを楽しみました。



■スノーアイスクャンドル大作戦

- ・平成30年1月30日(火)
- ・屯田北児童会館

スノーアイスクャンドルづくりを通して、子どもたちと地域住民が連携し、集う機会をつくらうと、屯田北児童会館が主催しました。同会館を利用している子どもたちのほか、隣接する保育園の園児やキャンドルを置くための台を制作した近隣の高校の生徒も参加し、子どもたちが一斉にキャンドルに灯をともすと、会場からは大きな歓声が上がりました。



2月 February

■第30回北区スノーホッケー大会

- ・平成30年2月11日(日)
- ・麻生球場

スノーホッケーは札幌市で生まれた冬のスポーツで、1チーム7人が「レッツ」と呼ばれるミニスキーを履き、スティックを使ってボールを相手チームのゴールに入れ、シュートの点数を競います。同大会は北区スポーツ推進委員会と北区が主催するもので、区内の小学5・6年生、全18チームが参加し、男女・学年別のリーグ戦により優勝を競いました。



■第41回しのろスノーフェスティバル

- ・平成30年2月18日(日)
- ・篠路コミュニティセンター

寒さに負けない体力づくりや家族・友人との絆を深めることを目的として、篠路地区青少年育成委員会と篠路連合町内会が主催しました。制限時間内に雪像を作る「雪像コンテスト」では、参加者が様々な雪像を製作して出来栄を競い合ったほか、会場内には大きな滑り台とかまくらも作られ、子どもたちは歓声を上げながら雪遊びを楽しみました。



■あさぶおすそわけマーケット

- ・平成30年2月25日(日)
- ・麻生総合センター

子どもから高齢者までが、買い物や様々な体験を通じて交流することで、地域の活性化を図ろうと、麻生商店街振興組合が主催しました。麻生や周辺地域のパン屋、雑貨屋、手作り作品のお店など12店舗が出店し、各店には、品物の販売とは別に、会話や交流が生まれる仕掛けとして商品の試食や小物のプレゼントなどの「おすそわけ」が用意されました。



■新琴似歌舞伎公開講座

- ・平成30年2月28日(水)
- ・プラザ新琴似

開拓期に演じられていた農村歌舞伎の保存伝承に取り組んでいる新琴似歌舞伎伝承会が、新琴似中学校と連携して開催したものです。伝承会の会員から指導を受けた同校の2年生15人が演者や裏方として出演し、「白浪五人男しらなみごにんおとこ」から「稲生川勢揃いの場いなせがわせいぞろいのば」を披露しました。中学生の堂々とした迫力ある演技に、会場からは惜しめない拍手が送られました。



■第17回北区のアーティスト展

- ・平成30年11月19日(月)～25日(日)
- ・札幌サンプラザ

北区在住の芸術家を広く区民に知ってもらおうとともに、その作品に親しんでもらおうと、各分野で活躍する芸術家22人の油彩や水彩画、版画や日本画などのさまざまな作品が展示されました。来場者は、会場で配布される出展者のプロフィールや作品について書かれたパンフレットを片手に、身近な芸術家の作品を鑑賞していました。



■合同安全祈願出陣式及び除雪機械体験試乗会

- ・平成30年11月21日(水)
- ・北区西地区除雪センターモータープール

屯田地区で除雪業務を行う企業と屯田防犯パトロール隊(通称:とんぼ隊)が、連携して防犯パトロールなどを実施していることから、冬場の交通事故防止を祈願しようと合同で開催しているものです。地域の保育園児や小学生を対象とした除雪機械体験試乗会も行われ、児童らは作業員の補助を受けながら、その大きさを実感していました。



■ふれあいもちネバ大会

- ・平成30年11月25日(日)
- ・太平百合が原地区センター

餅つきを地域の子どもたちに体験してもらい、日本の食文化を学んでもらおうと、太平百合が原地区青少年育成委員会が、同地区連合町内会などと協力して開催しました。参加した子どもたちは、掛け声に合わせて、順番に餅つきを体験していました。つき上がった餅は、同委員会からのスタッフが雑煮に調理し、参加者に振る舞われました。



■新琴似地区福祉のまち推進センター事務室開所式

- ・平成30年11月30日(金)
- ・新琴似北会館

新琴似地区社会福祉協議会では、単身高齢世帯の見守りなどを行う推進員と呼ばれるボランティアの活動拠点を設けることで、より地域に密着した活動ができるようにと、新琴似北会館内に福祉のまち推進センターの事務室を開設しました。この日の開所式では、札幌市社会福祉協議会の職員による記念講演も行われ、出席者は熱心に聞き入っていました。



12月 December

■第13回三校合同コンサート

- ・平成30年12月9日(日)
- ・札幌市立新川西中学校

地域住民らに気軽に音楽を楽しんでもらい、音楽を通じて地域の交流を図ろうと、新川西中学校区青少年健全育成推進会が主催した、新川西中学校、札幌新川高校及び札幌国際情報高校の吹奏楽部によるコンサートです。クリスマスにちなんだサンタクロースの仮装などの趣向を凝らした演奏に、観客からは、演奏の都度、盛大な拍手が送られていました。



■災害弱者施設と地域が風水害に備えた避難訓練

- ・平成30年12月11日(火)
- ・屯田地区

屯田地区にある特別養護老人ホームなど計5施設が、地域の町内会や北消防署、北消防団と協力して開催しました。大雨による避難準備情報が発令され、発寒川などの増水によって浸水の恐れがある施設から入居者を他の施設に避難させるという想定で実施され、参加者らは、車いす利用者の避難介助など本番さながらの訓練を行いました。



■とくとく教室

- ・平成30年12月19日(水)
- ・双葉福祉会館

生活に役立つ情報を「得」して地域住民で学び合うことを目的に、平成26年度から新琴似西連合町内会が開催しています。参加者らは、講師の指導の下、冬場の転倒防止のために体幹を鍛えようと、発声に合わせてお腹をへこませる腹筋運動を行うことで、体の中心の体幹を鍛える体操や、自宅で行える健康体操などを行いました。



■平成30年台風21号・北海道胆振東部地震災害対応に係る感謝状贈呈式

- ・平成30年12月25日(火)
- ・札幌サンプラザ

9月に発生した台風21号及び北海道胆振東部地震の際に、倒木処理や道路の復旧業務、飲料水の提供などの災害対応で区民の支援を行った15の団体に対し、村山英彦北区長から感謝状の贈呈を行いました。贈呈式の中では、北区の小学生などから寄せられた、一連の災害対応に関する感謝のメッセージの紹介も行われました。



■6年生親子レク「ミニ防災体験会」

- ・平成30年9月21日(金)
- ・札幌市立北九条小学校

親子の学びの場である親子レクで、防火・防災に対する関心を高めてもらおうと、地域や北消防署などの協力の下、北九条小学校PTAが主催しました。参加した同校の児童と保護者らは、胸骨圧迫やAEDによる救急救命の方法や、ほどけにくいロープの結び方、毛布と棒を活用した簡易担架など5つのコーナーを体験しました。



■第34回北区食改善展

- ・平成30年9月26日(水)
- ・北区民センター

多くの市民にバランスの良い食生活を知ってもらおうと、「北区食生活改善推進員協議会」が主催しました。同協議会は、食生活改善を通して健康づくりの輪を広げていこうと活動しているボランティア団体で、塩分0.6%のみそ汁の試食コーナーなども設置された会場では、来場者が健康的な食生活についての同協議会会員の説明に耳を傾けていました。



■新琴似地区で「秋の交通安全市民総ぐるみ運動」街頭啓発

- ・平成30年9月28日(金)
- ・新琴似地区

9月21日から30日まで全国一斉に行われる「秋の交通安全市民総ぐるみ運動」に合わせて、区内各所で街頭啓発が行われました。この日は、新琴似四番通の新琴似神社前付近で、新琴似連合町内会の住民ら約150人が参加して街頭啓発が行われ、参加者らは旗を掲げて交通安全を呼び掛けました。



■第46回北区少年少女スポーツ大会

- ・平成30年9月30日(日)
- ・北区体育館・札幌市立新琴似小学校体育館

スポーツを通じた少年少女の相互交流と健全育成を目的として同大会実行委員会が主催し、北区役所などが共催しました。区内の小学3~6年生328人が参加し、男女別に地区ごとのチームに分かれ、3・4年生はドッジボール、5・6年生はミニバスケットボールで日頃の練習の成果を競いました。



10月 October

■篠路文化祭で篠路子ども歌舞伎披露

- ・平成30年10月13日(土)
- ・篠路コミュニティセンター

地域で活動するサークルなどが活動の成果を発表する場である篠路文化祭で、篠路中央保育園の園児による「篠路子ども歌舞伎」が披露されました。これは、農村歌舞伎の歴史を引き継ごうと篠路歌舞伎保存会が行っているもので、園児たちは、「仮名手本忠臣蔵」から「足利館あしかがやぐら門前かどまへ進物の場」と「足利館松の間刃傷あしの場」を大人顔負けの迫力で熱演しました。



■ぽっぴいはっぴいきたまちフェスティバル

- ・平成30年10月13日(土)
- ・百合が原公園

幅広い世代の人に秋を楽しんでもらうとともに、北区の文化や健康づくり、食育への取り組みを紹介しようと、北区と札幌市公園緑化協会が共催しました。会場では、北区の健康まちづくりキャラクター「ぽっぴい」のバースデーパーティーも行われ、各区のキャラクターがお祝いに駆け付けて、訪れた親子連れなどを楽しませました。



■第9回幌北ウォーキング大会

- ・平成30年10月19日(金)
- ・北海道大学構内

幌北小学校の5年生児童と、「学生と地域で考えるまちづくり会（NeoLos幌北）」の学生会員や地域住民が、秋の北海道大学構内を散策して交流を深めました。児童らは、NeoLos幌北の学生会員と協力しながら、参加者に配布するパンフレットの作成などの開催の準備を進め、当日の参加者の受付や開閉会式の司会進行も務めました。



■国際交流フェスティバル2018

- ・平成30年10月27日(土)
- ・プラザ新琴似

外国人との交流を通じて地域の子もたちに諸外国の文化に触れてもらおうと、新琴似地区青少年育成委員会が主催しました。参加した留学生と子どもたちは、動物の絵を用いたビンゴゲームなどで交流を深めました。ゲーム中には、動物の鳴き声をそれぞれの母国語で紹介する場面もあり、子どもたちは日本語との違いに驚いていました。



3月 March

■第28回拓北・あいの里雪中運動会

- ・平成30年3月4日(日)
- ・札幌市立拓北小学校

子どもたちに冬の屋外で遊びながら集団行動を学んでもらうことで、健康で素直な子どもに成長してもらおうと「21世紀を考える会」が主催しています。大きなビニール製の袋に入り飛び跳ねたりして速さを競う障害物リレーや、籠に投げ入れた雪の重さを競う雪中玉入れなど4種目が行われ、子どもたちは雪中運動会を楽しみました。



■平成29年度篠路地区善行表彰式

- ・平成30年3月4日(日)
- ・篠路コミュニティセンター

ボランティア活動などに取り組む子どもたちを地域で見守り褒めることで、さらに長所を伸ばしてもらおうと、篠路地区コミュニティネットワーク会議青少年部会が主催しています。児童が自発的に行った公園の清掃や、日頃のあいさつ運動、ペットボトルキャップやリングブルの回収活動などさまざまな活動が表彰されました。



■北区少年消防クラブ平成29年度修了式

- ・平成30年3月11日(日)
- ・札幌サンプラザ

区内には、新琴似、新琴似西、新川、篠路、屯田の5つの少年消防クラブがあり、日頃から応急手当の訓練や防火パトロールなどの火災予防活動を行っています。この日は、卒業するクラブ員を祝うとともに、区内各地区のクラブ相互間の親睦を深めようと、札幌北区少年消防クラブ協議会が主催して修了式が開催され、卒業するクラブ員に卒業証書が手渡されました。



■「こそだてインフォメーションぽっぴい★らんど」オープン

- ・平成30年3月28日(水)
- ・北保健センター

北保健センター2階にあった「子育て情報室」が「こそだてインフォメーションぽっぴい★らんど」に名称を変更し、子育てに関するさまざまな悩みや困りごとを一元的に相談できる窓口として、3月15日同センター1階にリニューアルオープンしました。28日にはオープニングセレモニーが行われ、北区健康まちづくりキャラクター「ぽっぴい」も登場し、来場者に同らんどの利用を呼び掛けて会場を盛り上げました。



4月 April

■北24条商店街留学生ガイドツアー

- ・平成30年4月7日(土)
- ・北24条商店街

地域の外国人にもっと商店街を利用してもらい、まちに溶け込むきっかけにしてもらおうと、北24条商店街の若手商店主らを中心としたFrom24英語部が主催しました。12か国21人の留学生が参加し、店舗の利用方法などを熱心に尋ねたりしながら13店舗を回りました。参加者同士での会話も弾み、連絡先を交換するなど親交を深めていました。



■藍の種の配布

- ・平成30年4月23日(月)
 - ・北区役所、北区民センター、篠路コミュニティセンターほか
- 北区では、明治の開拓期に藍を栽培し、藍染めの染料を作り全国に販売していた歴史があり、現在は篠路天然藍染協議会が藍染めの普及活動を行っています。北区では、この歴史を広く知ってもらおうと、藍栽培の歴史や育て方について説明しながら、赤や白の花を咲かせる種が入った袋を訪れた区民に配布しました。



■車いす寄付に対して感謝状を贈呈

- ・平成30年4月25日(水)
- ・北区役所内

宮坂建設工業株式会社が、地域に貢献しようと、札幌市北区社会福祉協議会に車いす3台を寄付し、これに対して感謝状の贈呈が行われました。同社の寄付は、平成20年から行われており、これまでに寄付された車いすは35台に及んでいます。寄付された車いすは、札幌市北区グループホーム管理者連絡会を通じて、区内の福祉施設に贈呈されます。



■春の火災予防運動街頭啓発

- ・平成30年4月26日(木)
- ・スーパーアークス北24条店

雪解けを迎えたこの時期は、風が強く、空気も乾燥することから、4月20日から4月30日までの間、区内6カ所で火災予防の街頭啓発が行われました。この日行われた街頭啓発には、北区防火委員のほか、北消防署職員、北区の消防団など約30名が参加し、リーフレットを配布しながら火災予防を呼び掛けました。

